9月のまちの話題

秋

秋の交通安全運動の 実施に伴い9月24日、 厚真町交通安全協会 「セーフティコール」が、 苫小牧信用金庫前交差 点で実施されました。

の

交通安全運

で

フテ

コ

ル

河

敷

スモス

が

当日は、町内の各団 体や事業所などから約 100人が参加。「飲酒運 転の撲滅」「交通安全」 「シートベルト着用」など と書かれたのぼりを手 に持ち、約1時間にわ って道行くドライバーに 交通安全を呼びかけま した。

9月中・下旬にかけ て、新町パークゴルフ 場近くの厚真川河川敷 でコスモスが見頃を迎 え、訪れた人たちの目 を楽しませました。

これは、春に町民と 役場職員が共同で種を まいたもので、毎年こ の時期に見頃を迎えま

今年は町のfacebook ページをはじめ、道内 の旅行情報誌でも紹介 されたことから、シル バーウィーク中などに 町内外から多くの方が コスモスを見に訪れて いました。



みんなのよい食JA親善大使事業で コンサドーレの4選手が来町しサッカー指導



選手や チの話に聞き入る参加者

ーチの 指導の 佐々: を

じて子どもたちとその保護者に、 北海道が北海道フッ 厚真会場には、 食と農への理解促進を図るため、 教室が表町公園で開催され のク・ソ ンユン選手とDFの福森 クラブと協力 地域農業の役割や、 し実施。

の選手

町に車いす3台を寄贈苫小牧厚真会創立30周

す3台を寄贈

-を 通

ニュー王子 (苫小牧市)年記念式典・祝賀会が9

ユー王子(苫小牧市)で開催され、約80人が出記念式典・祝賀会が9月4日、グランドホテル苫小牧厚真会(瀬尾清会長)の総会と創立30周

式典では、

苫小牧厚真

た〇×クイズを行 などをテーマにし 訪問。 どで指導に当たる 少年対象の教室な 佐々木滋コー 30人が参加し、 厚真や苫 わの選手 農業 チ 約 小が



の花」のC 音楽事務所 Dを寄贈

と厚真の話に大いに花を咲かせていました。
その後開催された祝賀会では、出席者がふるさ町から同会へ感謝状を贈呈しました。

みの花」のCD500成一社長と所属歌手の成一社長と所属歌手の 宮坂町長へ美咲じゅん子さんの の美咲じゅ 枚を寄贈しま (苦小 の曲「ゆのとんが役場」の星川

念曲として発表され、 「ゆのみの花」は、 ました。
、何かの折に役立ててに
。星川社長は「厚真の地 長は「厚真の地名がみ、歌詞に厚真町の旧地 長の作 が入ってい 30周年記

っています。

晃斗選手

宮坂町長から記念品を受け取る出席者



皆さんこれからもますますお元気で!

今年も豊かな実りに感謝 胆振・日高青年神職会が抜穂祭

9月29日、森田明央さん(桜丘)の神田(田んぼ)で、胆振 青年神職会・日高青年神職会合同による抜穂祭と稲刈りが 行われ、作業の安全と豊かな実りに感謝を捧げました。

田長を務められた森田さんは「6月に低温が続き心配し ましたが、7月からの気温の上昇と天気で、昨年同様、良 い実りの秋となりました。無事に秋の収穫を迎えられて安

収穫されたお米は、伊勢神宮をはじめ胆振・日高管内の 各神社に奉納され、新嘗祭で用いられるとのことです。



きれいになった駅舎の前で記念撮影

厚真町敬老

会に

3

が

席

長寿

をお祝

す

気

平成27年度厚真町敬

宮坂町長や渡部議長ら来賓から長寿の

お祝

いを受け

総合福祉センター

で開催され、

小学生がチャレンジ! JR浜厚真駅塗り替え

和11年12月31日以前に生まれた方)

が526人の計7

0

3名の方にご出席いただき、

米寿 (88歳)

0

方が48人、

般敬老者

(上記該当以外で、

の方が3人、

90歳以上

今年度対象となった方は、

会では、

宮坂町長が「今日は3

皆さんをはじめ、先輩たちのご努力のおかげ。

お元気な方ばかりで、私も大変うれ

しく思います。

厚真町が今あるのも

次代を引き継ぐ者として、

祝宴が行われ、

出席者は楽し

いひとときを過ごして

いまし

その後、

長寿をご祈念申し上げます」

出席された90歳以上と米寿の方に記念品が贈られ、

と祝辞を述べました。

豊かな恵み、

全ての命あるものに感謝しつつ、

皆様方のさらなるご

豊かな大

いかなくてはと決意を新たに

9頑張って

9月29日、町の臨海ゾーン環境整備事業の一環として、 JR日高線浜厚真駅で町内の小学生による駅舎の塗り替 えイベントが行われました。図案は、7月に各小学校の放 課後こども教室でアイデアを募集し、それを基に、町と包 括連携協定を締結した札幌市立大学の学生らが作成。

当日は、浜厚真海岸でサーフィンに取り組んでいるあつ まビーチクラブ(丸山聡史会長)の児童12人や札幌市立大 学の学生、浜厚真自治会の会員らが参加。子どもたちは、駅 舎にあつまるくんや砂浜などを元気に描いていました。

心しました」と話していました。



優勝を目指し白熱した試合を繰り広げる選手ら

目指せ優勝!厚子連ミニバレー大会

9月12日、厚真町子ども会育成連絡協議会(野澤政博会長)主催の「厚子連ミニバレーボール大会」が町スポーツセンターで開催され、小学生の部3チーム14人、中学生の部4チーム20人が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会の結果、小学生の部ではレインボー(藤田李望主将)が、中学生の部ではフェアリーズ(加納代早主将)が優勝。優勝した2チームは、10月25日に洞爺湖町で開催される、第34回室蘭民報社旗・第43回胆振地域子ども会育成連絡協議会スポーツ交流会へ出場するとのことです。

今年も豊作!つみき園児が稲刈り体験

こども園つみき(宇佐美修一園長)のきりん組園児らが9月17日、錦町の保田さんの田んぼで稲刈りを行い、園児や保護者など約50人が参加しました。園児たちは、お父さん・お母さんや先生たちと一緒に鎌を使って稲刈り体験をしたり、東ねた稲をトラックへ積み込んだりする作業などを行いました。

収穫したお米は、はさ掛けして天日で乾燥させ脱穀を行った後、こども園の給食用として使用されるほか、12月上旬に開催予定の「収穫祭」で、おにぎりを作って食べる予定とのことです。



お母さんと一緒に稲刈り。上手に刈れたかな?



校舎へ放水し消火活動を行う職・団員ら

技術の向上練磨を・合同模擬火災訓練

厚真消防団と胆振東部消防組合消防署厚真支署による「秋季合同模擬 火災訓練」が9月3日、上厚真小学校で行われ、消防車や救急車など車 両11台が出動し、職・団員ら計約80人が参加しました。

今回は、上厚真小学校の機械室で火災が発生し、学校内の職員2名が 負傷し逃げ遅れたという想定で訓練を実施。また、併せて上厚真小学校 の避難訓練も行われました。訓練が始まると、職・団員らは校舎へ一斉 放水を行ったり、逃げ遅れた人の救助や負傷者の救護・搬送をしたりな ど、きびきびとした動きで訓練に臨んでいました。

交通安全を呼びかけ市街地をパレード

秋の全国交通安全運動の一環として9月26日、厚真町交通安全協会 (池川義厚会長)主催による「交通安全パレード」が実施されました。 開会式では、池川会長に続いて宮坂町長が「子どもたちの参加が何より交通安全の普及啓発につながります。参加された皆さんそれぞれの立 場で、交通安全運動をさらに強く展開していってください」とあいさつ。

その後、苫小牧警察署のパトカーが先導し、厚真中央小学校鼓笛隊をはじめ町内の各団体や事業所、交通安全関係者、教職員、役場職員など約130人が厚真市街地をパレードし、交通安全を呼びかけました。



厚真市街地を行進し交通安全を呼びかけ



狙いを定めてショットを打つ出場者

優勝は誰の手に!?自治会対抗 P G 大会

9月3日、新町町民広場パークゴルフ場で「自治会対抗ナイターパークゴルフ大会(秋季)」が行われました。7自治会から12チーム54人が出場し、交流を深めつつ優勝を目指して競い合いました。

【団体】優勝:南町A、準優勝:本郷A、3位:本郷団地、4位:本郷B、5位:新町A、6位:南町B、7位:本郷団地B、8位:ルーラルB、9位:上厚真、10位:東和、11位:新町B、12位:ルーラルA 【個人】男性1位:鹿間正榮(本郷A)、2位:小路幸則(南町A)、3位:飛谷頼孝(本郷A) 女性1位:小路順子(南町A)、2位:都築静子(南町B)、3位:前田なみ子(本郷団地B)

まちの話題 plus

厚南地区認定こども園で使用する カラマツ集成材の柱や梁が完成



後方に積まれている集成材が認定こども園に使われます

北見市内の木材工場で9月18日、上厚真地区で建設中の認定こども園で使用する集成材の製品検査が行われました。今回検査したのは、認定こども園で使用するカラマツ集成材で、柱や梁の寸法等の検査を実施。

集成材とは、厚さ3~4cm程度の板を十分に乾燥させた後、複数枚接着することで作られた柱や梁などのことで、大きなサイズの製品が作れることに加え、狂いが生じにくいという特徴があります。

木材は、認定こども園で約300㎡、児童会館で約190㎡使用される予定で、児童会館には、今年町有林で伐採されたカラマツで作った集成材が使われます。また、今回の検査では、厚真産カラマツが工場に到着し、乾燥まで完了している状況も確認されました。

普及センターの職員が農家で研修

9月24日から30日まで、指導農業士である畑嶋賢蔵さん(東和)宅で 農業改良普及センター新採用職員の「農家派遣研修」が行われ、普及セ ンター職員が農業研修を行いました。

畑嶋さん宅では、胆振農業改良普及センター東胆振支所普及指導員の小川洋平さん(29歳)が研修を行い、稲刈りに関する一連の作業を体験。小川さんは「畑嶋さん宅でお世話になりながら、寝食を共にして農繁期の生活を身を持って感じています。まだまだ農家の方に教えてもらうことのほうが多く、足元にも及びません」と感想を話していました。



もみの乾燥具合を確かめる小川さん



委嘱状を受ける黛さん(左)と杉澤さん(右)

地域おこし協力隊2名に委嘱状を交付

9月14日、地域おこし協力隊林業支援員の委嘱状交付式が行われ、新しく支援員となった、群馬県高崎市出身の黛幸治さん(34歳)に宮坂町長が委嘱状を手渡しました。また、9月17日には、地域おこし協力隊観光振興支援員の委嘱状交付式が行われ、青森県板柳町出身の杉澤希理子さん(25歳)に委嘱状が手渡されました。

宮坂町長は「この縁をうまく利用して、厚真の活性化に結びつけてほしい。新しい可能性を引き出してくれることを期待しています。楽しく過ごしていただきながら、積極的に行動してください」と激励しました。

新日本海フェリーでチェンバロ演奏会

9月14日、苫小牧東港フェリーターミナルに停泊する新日本海フェリー「あざれあ」船内で、チェンバロ奏者・明楽みゆきさんの演奏会「音楽でつづる北前船の歴史と未来」が開催され、町内外から約70人が参加しました。これは、港を生かしたまちづくりを目指す苫小牧の市民団体「女性みなと街づくり苫小牧」が主催したもので、明楽さんの先祖が北前船の船主という縁から全国各地で演奏や講演を行っています。

当日は、バロック音楽や現代ポップスなどさまざまな曲の演奏や北前 船の歴史が紹介され、参加者は演奏や説明に聴き入っていました。



チェンバロを演奏する明楽みゆきさん